

海の環境問題を
楽しく学ぼう!

海の 自由研究フェス

2024

in 東京

7/20 土・21日

10:00 - 17:00

日本財團 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

イベント実施報告書



イベント開催の背景

ここ近年、子どもたちの“海離れ”が急加速。

直近で海に行った小学生の数は60%と少なく、
海洋問題の認知度では、
子育て世代の20代・30代の数値が特に低くなるなど、
海との関わりはどんどん薄くなっています。

「海洋ゴミの8割は街から出てきている」という問題をきっかけに、
日頃から国内と国外でゴミ拾い活動を行う団体として
“どうすれば未来を担う子どもたちが
海に興味関心を抱き、環境問題を身近に感じることができるか?”
ということを考え、
2018年に「海の自由研究フェス」は生まれました。

現在ではゴミ問題だけでなく、
人によって生まれた多くの問題が海には顕在化しており、
海にまつわる仕事に従事する方々の中では
「もう手遅れに近い」という声が上がるほどの状況です。
未来を担うのは子ども達ですが、この現状を打破し、
良い未来を引き継げるかどうかは大人にかかっています。

2018年のスタート当初から想いは変わらず、
たくさんの親子が海の環境問題に触れるきっかけを作るために、
「より大きく、深く、楽しく」をテーマに
6回目の海の自由研究フェス開催となりました。





イベント概要および結果 (東京)

イベント名	: 海の自由研究フェス2024 in 東京
開催日時	: 2024年7月20日 (土)・7月21日 (日)
会場	: WITH HARAJUKU HALL / LIFORK HARAJUKU 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-14-30 3F
対象	: 小学生
参加費	: 無料 (ワークショップのみ¥500/1ワークショップ)
昨年来場者数	: 約2,500人
最終来場者数	: 約3,000人 (目標未達)

-----<昨年からの変更点>-----



2023年

施設に偶然来館した、イベント目的ではない方でも参加できるコンテンツを館内のB1Fから3Fに設置。コンテンツを分散することで全体の参加者数および館内を周遊する人の数を増加を狙った。



2024年

コンテンツを分散させず、すべて3Fの会場内に集約。会場面積も昨年の約3倍に拡大。

さらに、海の環境問題を「体験」することに重点を置き、事前申込制の海のワクワク体験講座に参加できない来場者や未就学児、保護者も体験できるフリーコンテンツと協賛企業ブースを昨年以上に拡充。





海の環境問題とその対策、海に関わる仕事など 五感で感じられるコンテンツを大幅に追加

「海のワクワク体験講座」などの継続コンテンツに加え、2024年は参加者が五感を使ってリアルに体感できるコンテンツを用意。「海では実際にどんなことが起きているのか」「企業や生活者はどんな行動ができるのか」「海に関わる仕事とはどのようなものか」コンテンツを通して考えるきっかけを作ることを目指しました。



海のワクワク体験講座詳細（東京）

.....<海のワクワク体験講座（全7種類）>

 マイクロプラスチックで、 アクアドームを作ろう！	 MSC認証を学んで、 紙粘土でお魚を作ろう！	 シーグラスでカメの チャームを作ろう！
 地球に優しい漁網で、 マイバックを作ろう！	 ホタテの貝殻で 海の世界を作ろう！	
 海と山のつながりを学んで 花や葉で海の栞を作ろう！	 海洋酸性化を学んで エコキャンドルを作ろう！	

ほぼすべてをグリーンバードで監修をし、
聞き慣れた問題からニッチな問題まで幅広く扱う

小学生から大人まで、耳にする機会が増えてきている「海ゴミ」「海水温上昇」「マイクロプラスチック」のようなメジャーな海洋問題だけではなく、「生分解性」や「海洋酸性化」、海の一次生産者である藻類に必要な「フルボ酸鉄」と「磯焼け」の関係など、“生活者にとってはまだまだニッチだが重要なテーマ”を扱い、子どもも大人も発見のあるワークショップの実施を目標としました。



海のワクワク体験講座詳細（東京）

＜海のワクワク体験講座詳細＞



マイクロプラスチックで アクアドームを作ろう！

＜扱うテーマ＞海洋ゴミ、マイクロプラスチック

＜内容＞近年話題となっている海洋ゴミの中でも特に問題となっているマイクロプラスチックについて学び、海の生き物のフィギュアとマイクロプラスチックを使ってアクアドームを作りました。



MSC認証を学んで、 紙粘土でお魚を作ろう！

＜扱うテーマ＞乱獲、混獲、MSC・ASC認証

＜内容＞持続可能な水産食品を消費者が選ぶ上で重要なエコラベルの中でもMSC・ASC認証について学び、実際に生鮮食品に使われるパックと紙粘土を使って、MSCの中で代表的なマグロとカツオを作りました。最後は実際のMSC認証マークのシールを貼って完成。





海のワクワク体験講座詳細（東京）

＜海のワクワク体験講座詳細＞



シーグラスでカメの
チャームを作ろう！

＜扱うテーマ＞ウミガメの生態と絶滅理由

＜内容＞7種類のうち6種類が絶滅危惧種に認定されているウミガメの生態を学びながら、数が減少している原因の多くが人間由来のものであることを学ぶワークショップ。海ゴミのシーグラスを使い、キーホルダーを作りました。



地球に優しい漁網で、
マイバックを作ろう！

＜扱うテーマ＞ゴーストギア、生分解性

＜内容＞海を漂う漁具のゴミ「ゴーストギア」が及ぼす生き物や環境への影響を学び、その新たな解決方法として、生分解性を学ぶワークショップ。ニチモウ様の協力のもと、実際の生分解性素材を使った小型のバッグを作りました。
協力：ニチモウ株式会社





海のワクワク体験講座詳細（東京）

＜海のワクワク体験講座詳細＞



ホタテの貝殻で 海の世界を作ろう！

＜扱うテーマ＞ホタテの生態系と貝殻の廃棄問題

＜内容＞日本国内の特に北の地域で問題となっているホタテの貝殻の廃棄問題と、その解決方法としてのアップサイクルについて学び、実際のホタテの貝殻を使って海の世界のジオラマを作りました。

協力：甲子化学工業株式会社



海と山のつながりを学んで 花や葉で海の栞を作ろう！

＜扱うテーマ＞フルボ酸鉄、磯焼け

＜内容＞海の一次生産者にとって必要不可欠な鉄分、「フルボ酸鉄」は山や森から生まれ、川を辿って海に流れ着くものであるということから、海だけではない自然保護の重要性を学び、植物を使ったオリジナルの栞を作りました。





＜海のワクワク体験講座詳細＞



海洋酸性化を学んで
エコキャンドルを作ろう！

＜扱うテーマ＞海洋酸性化

＜内容＞海水が徐々に酸性に近づいていく「海洋酸性化」は大気中の二酸化炭素量が増えることで発生している現状や、貝やサンゴなどの生き物が海洋酸性化の被害を受けることでのんな変化が海の中で起きてしまうのかについて学び、環境に優しいソイワックスを使いキャンドルを作りました。



初めて有料制を導入し、増枠も満員を達成

「できるだけ多くの方にご参加いただきたい」という想いから、6回目の開催で初めて海のワクワク体験講座の有料制を導入しました。参加枠の増枠も実施しましたが、イベント本番前にすべての講座が満員となり、過去最多の約540名にご参加いただきました。



その他実施コンテンツ詳細（東京）

.....<トークショー>



・豪華ゲストによるトークショー！・

さかなのおにいさん かわちゃん氏、WoWキツネザル氏、マチーデフ氏の3名によるステージを2日間の中で開催。海の生き物や環境問題をテーマにした個性溢れるステージは、子どもも大人も巻き込んで大盛り上がりとなりました。



.....<海ゴミアクアリウム>



・海ゴミアクアリウム・

神戸の水族館 “átoa”と共同で制作した海ゴミ水槽を展示。ヘルメットやペットボトルキャップ、バランなど、生活に身近なものを多く使い、自分たちが生活で使うものが海をどのように漂っているのかを視覚的に感じられるブースを目指しました。アクリルに封入したマイクロプラスチックを顕微鏡で観察できるブースなども併設。





その他実施コンテンツ詳細（東京）

.....<マイクロ砂浜でマウくるプラスチック探し>



マイクロ砂浜で
マイクロプラスチック探し！

海ゴミアクアリウムの横に設置した、海砂の中に埋めたマイクロプラスチックを探すブース。海離れが進んでいる現状の中で、海の現状を楽しく体感してもらえるかを目的に設置。海ゴミアクアリウムの中にあるゴミが時間をかけて小さくなったり姿であることを伝えながら、子どもたちは砂の中にあるマイクロプラスチックを一生懸命探してくれました。

.....<プラゴミアップサイクル体験>



・ プラゴミアップサイクル体験！ ・

日本全国の海で回収されたプラスチックゴミを破碎したフレークを材料に、子どもたちが自分で色を選んで世界に一つだけのキーホルダーを作りながら、アップサイクルを体験できるブースを設置しました。高温の機会を使うため、安全面に配慮しながら実施。こちらのブースも、2日間で定員いっぱいの方にご参加いただきました。

.....<ミニゴミアート>



ミニゴミアート

実際の海ゴミや家庭ゴミとペンを使い、7cm四方のキャンバスにオリジナルのアート作品を作るブース。子どもたちの独創性が發揮された作品を、完成後に家で飾るためのイーゼルとともにお持ち帰りいただきました。



その他実施コンテンツ詳細（東京）

-----<海の環境学習&お絵描きアクアリウムルーム> -----



海の環境学習 & お絵描きアクアリウムルーム

海の生態系や環境問題を学べる絵本を置いたスペースと
ペンで描いた海の生き物を専用のスキャナーで読み込むと、
スクリーンの海の中で泳ぎ出す「お絵描きアクアリウム」を
併設し体験型の休憩スペースを用意。
ワークショップの合間などに利用できるようにしました。

-----<パートナー企業ブース> -----



パートナー企業ブース

海や地球の環境問題に取り組む協賛企業様のブースを設置。
全ての企業様が体験型のコンテンツを用意してくださいり、
廃棄漁網を使用したクリアファイル、海洋調査ロボットの
操作体験、ASC認証を取得したノルウェーサーモンの試食、
ホタテの貝殻を活用したヘルメット、有機栽培で作られた
オーガニックコスメ、アルミのリサイクルについて学ぶ
ゲームなど、幅広く有意義な機会を届けていただきました。

<協賛企業>

ニチモウ株式会社 / 海洋エンジニアリング株式会社 / 株式会社UACJ
甲子化学工業株式会社 / 株式会社ネイチャーズウェイ / 株式会社モウイジャパン

<協力>

WITH HARAJUKU

<メディアパートナー>

株式会社日本海事新聞社



<参加者アンケートの結果（感想）>

会場が素敵だったので気分が上がった。ステージを盛り上げてくれた方々も明るくてよかったです。申し込んだときには漁網バッグか紙粘土しか空いてなかつたので漁網バッグにした。他の体験もしてみたかったけど、漁網も念入りに準備してくださいって、バックグラウンドも手作業できたことも我が子にとって魅力的で、大変喜んでいた。

今まで知らなかったことが残念でした。
また来年も参加します。

まずトークショーは去年も参加させてもらい、とても楽しく面白く学べました。下の子がいたので最後まで中々いられないのですが、去年とはまた違う企画や、参加したいコンテンツが多くてまた来年も参加したいと家族揃って話していました。

子どもはサーモンのお寿司の美味しさに驚いていました。おかわりもしていたぐらいです。ゴミのリサイクルのタブレットゲームも何度もやって、家でもやりたいと話していました。私は海底をとれるカメラの操縦をしているこどもを見られたことが嬉しかったです。

地球や海洋の環境に優しい製品や、普段なかなか知ることの出来ない情報にも触れることができて、子供だけでなく大人にとっても良い機会でした。サーモンのお寿司も美味しくいただきました。

子どもが楽しみにしていた講座で、当日も楽しく参加していました。制作だけでなく、海のこと、地球環境のことを学ぶことが出来たので、これから的生活の中でも考えるきっかけになってくれればと思います。

説明がとても丁寧で、子どもが理解しているか確認しながら進行をしてください、ありがとうございました。海洋酸性化と聞いて子どもには難しそうと心配していましたが、とても分かりやすい解説で、子どもも勉強になったと喜んでおりました。ありがとうございました。

申し込み以外のもので参加できるものがあったことがとてもよかったです。子供がとても夢中になって色々体験していました。

特に砂浜でのマイクロプラスチック探しはどハマリ！それが今回の中で1番楽しかったそうです。そして今年も最後までいました。また連れて行きたいです。

漁網やホタテの貝ができるものがある等、実際見て手にとって説明を聞いて、分かりやすかったし、子どもが今授業でやっているとブースの方と会話をしたり、親子で学ぶ、知る機会になりました。オマケももらえて嬉しいです。毎年ワークショップだけでなくこの企業ブースも楽しみにしています。

<参加者アンケートの結果（感想）>

水中探査船の操作体験は大人でもなかなかできないことなので、子供も目を輝かせていました。アクアリウムは最初は「お魚居る？？」と言っていた子供達でしたが、帰る頃には「展示にあったゴミを全部みつけた」「これは小さいからマイクロプラスチックだね」などと会話できるまでになりました。お魚は自分たちでお絵描きしたものを泳がせることができ、大盛り上がりでした。

環境問題というと少し硬いテーマで、子どもにはとっつきにくい印象もあると思いますが、本イベントに初めて参加させていただき、子供が親しみやすいアートワークや、興味の持てる内容でワークショップを行ってくださいり、楽しく学べる良い機会だったと感じました。会場も馴染みのある場所で、スペースも広く開放的で過ごしやすかったです。

他にも参加したいものがたくさんあったが、こんなに充実したイベントだと思わず次の予定を入れてしまっていたことを悔やみながら会場を出ました。

2回目の参加ですが、家族揃って大好きなイベントです。息子がさかなのおにいさんかわちゃんが好きなので、去年「東京にかわちゃんが来る！」と小学生にはなっていなかったですが、会いたくて参加しましたが、ワークショップに参加できなくても楽しく参加できました。今年は小学生になったので、満を持してワークショップにも参加できましたが、夏の暑さに配慮していただいたり、サイン会も予約時間が早い方を考慮したりと、参加者ひとりひとりの時間を大切にしてくださってるのが伝わりました。

最初に環境問題を説明していただいたときに、一方的な説明ではなく、子供達に意見を聞いてみたり、クイズにしてみたりと工夫がなされており、すごい！と関心してしまいました！子どもも他のブースも行きたい！と言っていて、私も他のブースのお話を聞きたい！と感じました。内容も「こうやらなきゃいけない！」という感じがなく子どものオリジナリティを大事にしてくれている声掛けがあり、参加して良かったと思いました。

<参加者アンケートの結果（数値）>

体験講座への満足度

4.6pt

イベント全体への満足度

4.6pt

海の環境問題を
楽しく学ぼう!

海の 自由研究フェス

2024

in 岡山

小学生
対象

事前
予約制

8/7 土

10:00 - 16:00

参加無料

日本財團 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

イベント実施報告書



イベント概要および結果 / 実施コンテンツ (岡山)

イベント名 : 海の自由研究フェス2024 in 岡山
開催日時 : 2024年8月7日 (水)
会場 : 岡山医師会館
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町19番2号
対象 : 小学生
参加費 : 無料
来場者数 : 約600人

-----<実施コンテンツ>-----



日本各地の子ども達に機会を届けるべく、 初めての地方開催

海の自由研究フェスを初めて地方にも展開。グリーンバードの岡山チームに協力を仰ぎ、スタッフは岡山の学生を中心に構成。ワークショップは全て定員を達成し、来場者も600名と、1日を通してたくさんの人で溢れるイベントとなりました。



海のワクワク体験講座詳細 / 会場の様子（岡山）

-----<海のワクワク体験講座（全7種類）> -----

 マイクロプラスチックで、アクアドームを作ろう！



 MSC認証を学んで、紙粘土でお魚を作ろう！



 シーグラスでカメのチャームを作ろう！



 ホタテの貝殻で海の世界を作ろう！



 海と山のつながりを学んで花や葉で海の栄を作ろう！



 海洋酸性化を学んでエコキャンドルを作ろう！



(※各講座の内容の詳細は5ページを参照)

-----<岡山会場の様子> -----



<参加者アンケートの結果（感想）>

事前予約制ということで、待ち時間もなく案内してくださり、また、お昼の休憩時間にもかわちゃんの楽しいお話で子どもたちを楽しませてください、ありがとうございました。どのブースでもスタッフの方々皆様温かく接してください、初めての体験ばかりでしたが、楽しく海や魚たちのことについても学ぶことができてよい体験になりました。

環境の学びのお話を通して、遊びの中に意識できている。もともと環境問題に取り組んでいるけど、更なる広がりを感じられた。ありがとうございます。

これまで、漠然と、ポイ捨てはいけないという意識ではありましたが、今回実際にマイクロプラスチックやシーグラスに触れ、海の環境のことを学ぶことができて、より具体的に、ゴミのこと、魚のこと、海のことを考えるきっかけになりました。まだまだ知識が足りないところは、このような機会で改めて学んで考えたいと思いました。暑い中の開催だったので、涼しい屋内での開催というのもありがとうございました。

それぞれの講座でまずお兄さんお姉さんの話を聞いて学んでから作るというのがとてもよかったです。ただの工作イベントはよくありますが、子どもたちも大好きな海について学ぶきっかけになったと思います。それから、作品を持って帰るための袋等をしっかり準備してくださっていたのがありがたかったです。

事前予約制ではなかったですが、待ち時間もほとんどなく、空き時間に体験させていただけてよかったです。かわちゃんのクイズ大会も盛り上がって、さかなクン大好きな子どもが喜んで聞き入っていました。ありがとうございました。

マイクロプラスチックや海ゴミの環境問題を私も子どもに伝えてはいるけど意識してもらえなかつたので、ワークショップで工作をすることで意識してもらえて良かったです。

子ども達が海を大切にしたいと言っていました。

<参加者アンケートの結果（数値）>

体験講座への満足度

4.9 pt

イベント全体への満足度

4.8 pt

海の自由研究フェス 2025年開催に向けて

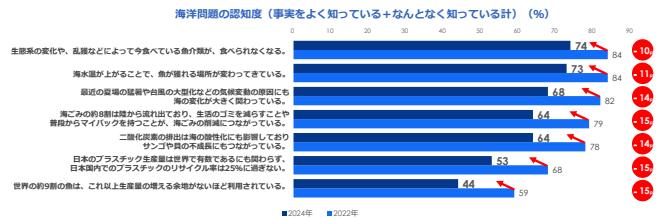


2025年開催に向けて

01_海へ行く機会と海への意識

海洋問題の認知度は、

2022年比で全体的に-10~-15ptと大幅に減少。



「海が大切である」という認識がある一方で、認知度が低下している。

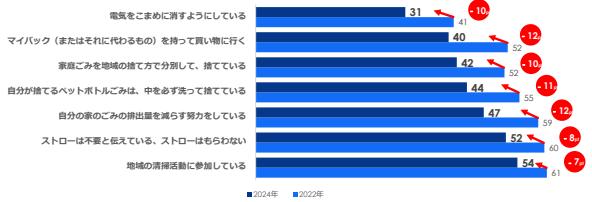
(「あなたにあたる人はお選びください」)
※小数点以下省略 2024年の半分で回答者は+1,000人

01_海へ行く機会と海への意識

「豊かな海を守ることにつながる行動」を意識して行ったと回答した人は

2022年比で全体的に10ptほど減少。

行動が「豊かな海を守ることにつながる行動」と意識していたか (%)



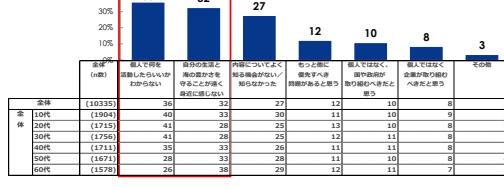
「海が大切である」という認識がある一方で、「海を守る行動」への意識が低下している。

(「あなたにあたる人はお選びください」)
※小数点以下省略 2024年の半分で回答者ベース上の行動を行ったと回答した人

02_原因と解決への展望 2_海への関心のいとぐち

海を守る行動を実行していない理由として、「個人での活動がわからない」「自分の生活と海のつながりを感じない」が多く、いずれも約3割。

「豊かな海を守ることにつながる行動」を実行していない理由 (%)



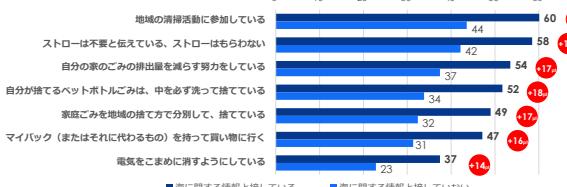
海と自分の生活に「つながりを感じる」ことができないため、行動につながらない。

(「あなたにあたる人はお選びください」)
※小数点以下省略 2024年の半分で回答者は+1,000人

02_原因と解決への展望 2_海への関心のいとぐち

海に関する情報を「得ている人」と「得ていない人」の間で、「豊かな海を守ることにつながる行動」への意識は14~18pt以上の差があった。

行動が「豊かな海を守ることにつながる行動」と意識していたか (%)



「海に関する情報を得ている人」は「海を守る行動」への意識も高い。

(「あなたにあたる人はお選びください」)
※小数点以下省略 2024年の半分で回答者ベース上の行動を行ったと回答した人

02_原因と解決への展望 2_海への関心のいとぐち

豊かな海を守る活動の中で、参加する気持ちが強まる活動は、「自分の生活への具体的な影響を知る」が65%と多かった。

豊かな海を守る活動への参加 (%)



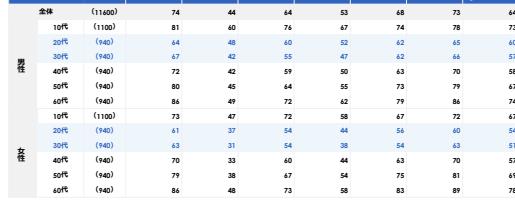
海の問題と自らの生活のつながりを見出す必要がある。

(「あなたにあたる人はお選びください」)
※小数点以下省略 2024年の半分で回答者は+1,000人

03_鍵となる若い世代 2_小学生

海洋問題の認知度を性年代別でみると、20代、30代の、特に女性の認知度が低い。

海洋問題の認知度を性年代別でみると、20代、30代の、特に女性の認知度が低い。



子育てを担う20代・30代に無知や無関心が多い。

(「あなたにあたる人はお選びください」)
※小数点以下省略 2024年の半分で回答者は+1,000人

(参照：日本財団「海と日本人」に関する意識調査)

**東京会場は会場規模を変えず、コンテンツのさらなる充実と来場者数増加を目指す
地方開催は岡山を継続し、さらに福岡会場を追加**

海洋問題の認知度と私たちの生活とのつながり、そして海を守ることにつながる行動をより多くの人に届けていくために来年も海の自由研究フェスを開催したいと考えております。東京会場は会場規模を変えずに、海のワクワク体験講座とフリーコンテンツの数を増加。より多くの方々を受け入れられる体制を作り、来場者のさらなる増加を目指します。地方開催では、岡山会場に加え福岡会場を追加予定。一年毎に地方開催の会場を増やし、2027年に5都市で開催することを目標に規模を拡大していきます。